



# は動画公開・ミニ出展の2本立て!

# ウィズコロナ + 原点回帰 = いつでもどこでも

新型コロナウイルスの脅威が去らない2020年秋。ニャオざねまつりはここ3年続いたくまがやドーム開催から新たな「いつでもどこでも2本立て」での実施の方向性が決まり、企業とのコラボレーション含む参加団体の募集が始まった(文中団体名は通称で表記)。



第12回はJC関東大会と同時開催

6月23日に市民活動支援センターで行われたニャオざねまつり企画委員会は、3月の時点で予定されていた10月24日(土)くまがやドーム開催の中止を決定。コロナ対策

下・新しい生活様式に対応する「分散・少接触・日常」型の、①動画の制作・インターネット配信、②市内多箇所・長期間のミニ出展、2本立てでの開催の方向性が定まった。今回で13年目となるニャオざねまつりに、多人数での実行委員会が開けないまま決議できなかった、橋本弘前実行委員会会長※2の後任を依田英世前副会長※3の提案で企画委員会が指名。NPOくまがや小林真理事※が後任に就いた。



強風の桜木小での第1回

## なくした自由・近さのかわりにより多くの充実感・つながりを

「コロナ禍でわたしたち市民活動が失ったもつとも大きなものは、自由に集まって話をする時間と人と人の距離でしょう。でも、新たな取組がより多くの充実感やつながりの深まりになれば、市民活動の目的である、(より豊かな社会)に近づくのではないのでしょうか。ドームでの一日開催では都合が合わなかった団体が、ネット上や分散会場での開催で発表の機会ができる。(いつでもどこでもの自由)は、逆に制約が多かった(物理的な集まりの自由)を超える部分もあるかも知れません。そんな新たな試みにトライしましょう」(小林新会長)

# 締切8月31日(月) 参加募集は3部門

取組は応募後すぐスタート!

①②は他団体や企業とのコラボレーションが基本。a~cのタイプでご応募ください  
ニャオまつボード(=実行委員会)が応募者と相談してマッチングします

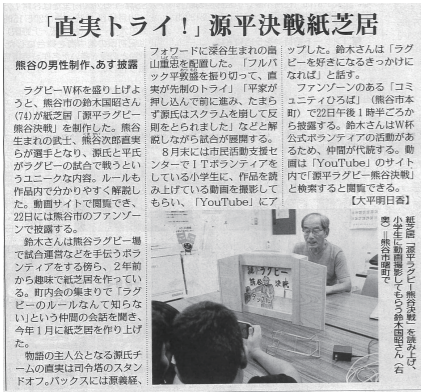
団体の活動を他団体が紹介 a) つくってほしい b) つくりたい c) 配信してほしい

## ①オンライン(動画制作・配信)

ニューノーマル対応で、多くの団体が取り組む活動紹介動画制作とインターネット配信。ニャオざねまつりでは団体間の交流を進めるため、他団体による紹介動画の制作と市内の団体動画を集めたポータルサイト※5を作成します。

希望の団体は、a) つくってほしい、b) つくりたい、c) (既存作品を) 配信してほしいで申込み。マッチングして制作・公開となります。ニャオまつボードによる、動画作成ワークショップも開催予定。

また、すでに動画がある団体はご提供ください。ポータルサイトでリンクします。なお、サイト内の統一のため1本5分以内としますが、活動ごとに1団体の複数公開もオッケー。期間内に公開された全団体の動画を、一本の総集編に編集して公開の予定です。



「直実トライ!」源平決戦紙芝居

鈴木さんのラグビー直実紙芝居を撮影配信した小学生「Tサポーターズ」(毎日新聞19年夏)

ドームニャオざねまつりをデリバリー a) 出展したい(団体・企業) b) 会場を提供したい

## ②オフライン(多会場長期間・ブースミニ出展)

期間は10~12月(前半)、1~3月(後半)の2期で募集。昨年までドームで行われていたブース発表、ワークショップ、ステージを、市内の施設や店舗など「どこでも会場」でミニ開催します。

交流のため希望団体は他の団体、企業とコラボレーション※6で参加が条件。参加チームが決まったらボードとともに会場を検討・交渉して、これらミニ出展を「ニャオざねまつり2020オフライン」としていっしょに広報します。



妻沼・沢田本店で「オレンジステーション」の「細の会」の健康メニューを展開した「移動健康カフェ」(熊谷の力)(19年春)

企画・実行委員会に代わる、オン/オフラインで誰でも参加できる運営メンバー

## ③ニャオまつボード 個人でも、いつからでも参加可

イベントの実施には、参加者と全体の動きをサポートする「本部」機能が不可欠。これまでのニャオざねまつりは、参加団体の代表者による「実行委員会」と少人数の「企画委員会」、そして事務局としての「市民活動推進課」で運営されてきました。

ニューノーマルはこんな体制も見直す機会。オフライン(実際に会場で会う対面交流)とオンライン(インターネット参加)の併用でより多くの人意見交換でき、ミニ出展当日のお手伝いなどにも活躍する運営グループ「ニャオまつボード」としてより交流が深めます。

【文中註】※1「エコネットくまがや」など所属 ※2「熊谷市ほたるを保護する会」など所属 ※3「エコネットくまがや」「ピースふあいぶるクラブ」など所属 ※4「NPOくまがや」など所属、市民活動支援センター所長 ※5 いろいろなホームページ(サイト)をリンクで集めたホームページ。ポータルは「玄関、入口」の意味で、あらゆる情報を集めた「Yahoo!」などが代表的 ※6 たたとえば、企業の一部を会場として提供、広告物に掲載など多様なコラボレーションが可能

問合せ先 ニャオざねまつり実行委員会  
会長・小林 真 携帯 090-9108-5785  
市民活動支援センター(熊谷市曙町5-67) 048-522-1592